

ひとり人間として

葉山町立葉山中学校

ひまわり

はな

三年

久永

花音

「社会的弱者」

多くの人々には、障がい

をもった人たちがよくあります。そして、「

弱者への思いやりを「弱者を差別しない社

会をつくらう」とよびかけています。障がい

い者に対して、悪意を抱いている人は少ない

でしう。しかし、私たちが理解は深いとい

えるのでしうか。彼らを弱者と分類し、

無意識に差別していませんか？

いつかの二、三、車椅子の生徒や難病

の生徒を受け入れ拒否という二、三をみた

ことがあります。私はこのことについて、適

切な判断なのか間違っているのか、とても考

えさせられました。そこで私は海外での障

がい者に対する考え方が気になり、アメリカ

での例を調べてみました。すると、アメリカ

人と日本人では、障がいに対する考え方が大

きくちがいました。

ともども外国では、障がいをもっている人
 たちのことを障がい者 (disabled people)
 とは言いません。障がいをもつ人、障がいと
 共に生きる人 (people with disabilities)
 という言いかたをします。あくまでも「人」
 に焦点をあて、人間として同じ権利があるこ
 とを強調します。そして、アメリカ人はそれ
 を子ども頃から自然に学んでいきます。イ
 ンクロージョン・ワラスルムといっ「障
 がりをもっている人も、そうでない人も同じ
 学校に通います。障がいのあつすべての子ども
 もたちが「健常児と同じように学ぶことがで
 きる環境を提供することは、公立学校の義務
 でありと法律で定められています。」「
 このような社会では、障がいや病気のあつ
 人を「弱者」とは呼びません。もし障がいを
 もつた人を弱者などと言んだり、アメリカで
 は差別だとりえます。障がいの者が社会的弱
 者だとしたら、社会が変わる必要があると考
 えるのです。

弱者のかわりに英語では、
「バルネラブル
な人たちが」という言いかたをします。
日本語にはほい表現で、
弱者とも意味がちがいます。
バルネラブルは、障がい
の有無を問わず誰も
が経験することです。
例えば、言葉の話せな
い国に行つたとき、
かぜにかかると
「バルネラブルな状態
である」という
そうぞうで
す。

私は、障がいというものの捉え方を変えて
いくところから始めなければいけない、と思
います。障がい
が他人事ではな
いといふこと、
今健康世として
も、この先いつ
になにかあるか
は
な
ん
て
わ
か
り
ま
せ
ん
。

将来自分も障がいを
も
つ
て
し
ま
う
か
も
し
れ
な
い
。

そのとき、
あ
な
た
は
な
に
を
求
め
る
で
し
よ
う
。

弱者といふ
カ
ラ
イ
。

グ
リ
ー
に
振
り
分
け
り
な
い
。

「か
い
そ
う
い
思
わ
れ
たい
し
よ
う
か」

目指すべき社会は、
「弱者を思いやる社会
」
で
は
な
く、
「
弱
者
を
つ
く
り
な
い
社
会
」
だ
と、
私
は
考
え
ま
す。
。